

夕刊常磐毎日

発行所 75 新 聞 社
平日 日 210 番
電話 1 1 1 0 番
印刷所 吉 田 南
編集人 吉 田 南

婦産科 入室看護
斎藤医院
電話 2910

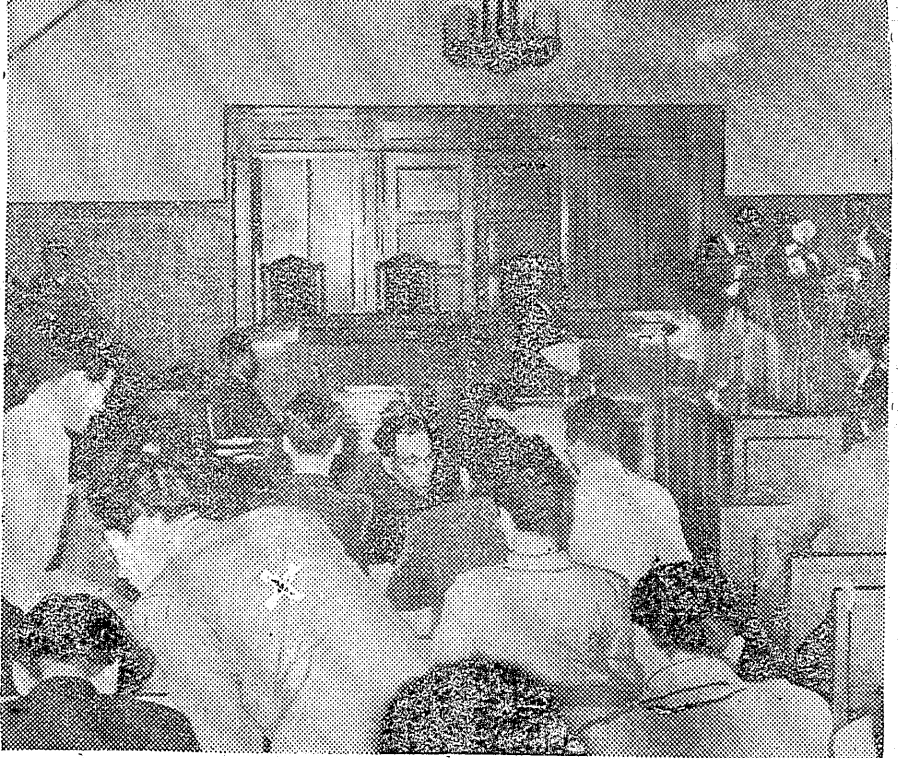
劈頭論告文撤回要求で波乱

平子正孝被告に懲役五年を求刑

三鷹の無人電線暴走事件、松川の列車脱線事件と並ぶ凶悪的暴行を持つ世に於ける事件として内外の注目を集めた平子正孝被告の論告文撤回要求は、高橋主任検事は、論告文撤回を拒否し、懲役五年を求刑した。被告は十一日午前十時、地裁平子支部の大庭裁判長の前で論告文を提出し、撤回を求めた。高橋主任検事は、被告の論告文は、被告の自白を認めた上で、被告の犯罪を悪化する傾向にあると、撤回を認めないとした。

八拾余名の報道人

被告は僅か三十二名



この日の地裁平子支部は正午三時開廷。被告は僅か三十二名、報道人は八拾余名をこぞて押し寄せた。

十二節に及ぶ総論

とらとらと論告する高橋検事



(高橋主任検事)

「総論概要」
騒乱事件の内容
日本共産党石城支部委員の暴行、朝鮮連帯会支部の暴行、炭酸労働組合(矢野、常磐、野村等)の暴行、同労組合、全労連等。

論告にあつて

福島地検庁橋本検事正談話
福島地検庁橋本検事正談話の要旨は、この事件は、被告の犯罪を悪化する傾向にあると、撤回を認めないとした。

この事件については、被告が石城地区委員会からの指令や連絡を断つて逃げたこと、被告が石城地区委員会からの指令や連絡を断つて逃げたこと、被告が石城地区委員会からの指令や連絡を断つて逃げたこと。

成寿院

葬送の儀は御多忙中にも拘らず送迎御会葬下され且つ御多忙なる御香手を賜はり御厚情誠に有難く厚く御礼申し上げます

早逝御禮の上御礼申し上げます

以て御礼がたが御礼申し上げます

昭和二十九年十月十日

平子権小五

副主	吉田
主	吉田
親戚代表	吉田 正博
友人代表	羽田 武雄

石城酒造株式会社

取締役社長 古川 伝一

父徳一儀 永らく病氣療養中の如き効本月八日午前九時十七分死去致しました

茲に生前の御交際を深謝し御通知申し上げます

追善告別式は十月十日午後一時由吉田地裁前於て式により相営みます

昭和二十九年十月十日

平市大字平子権字伝一口

親戚代表	松本 勇
友人代表	四家 又一
	古川 伝一
	諸橋 久太郎
	永山 勇吉

Skopetsudo

松月の喫茶

平 銀座 TEL 206

東京平仙台定期増車

東平一仙台間の荷物一般貨物自動車並三輪車の御用は是非一八七番(御用金下)

平営業所

平 月見町一八七

